

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2022年度 パフォーマンス向上会議情報(2022年6月1日(水)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2022年6月1日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【モニタリングポストNo.8局舎とダストモニター2局舎内部への、雨水浸水によるダストモニタの停止について】 当社社員が、モニタリングポストNo.8近傍の周辺監視区域境界連続ダストモニタのA系、およびB系の測定停止に伴い機器異常警報が発生したことを確認。 原因は、大雨によりモニタリングポスト局舎前の側溝の流れが悪くなり、局舎内に雨水が浸入していることを確認したため、雨水浸入による機器の停止と判断。 なお、異常が発生したダストモニタの近傍にて、代替の測定を実施し、周辺の空气中放射性物質濃度に異常が無いことを確認済み。 その後、機器故障したダストモニタのA系、B系両系統とも交換を行いダスト測定を再開したことを確認。</p>	GⅢ	5月27日
2	<p>【モニタリングポストNo.8局舎とダストモニター2局舎周辺の雨水溜まりによる空調室外機の停止について】 当社社員が、雨水が浸入したモニタリングポストNo.8局舎および、ダストモニター2局舎の現場調査時に、局舎内に設置している空調機の室外機の停止により、冷房機能が使えない状況であることを確認。 電源を入り切りしたが、室外機は動作しないことを確認。 原因は、大雨によりモニタリングポスト局舎前の側溝の流れが悪くなり、局舎周辺に雨水が溜まったため、室外機に雨水が浸入し機器が停止したと判断。 なお、局舎内機器の使用温度条件は5～35℃であり、冷房運転出来ない間も使用温度条件内であったことを確認。 5月31日に再度局舎に出向し、電源投入後、冷房と室外機の運転開始を確認。</p>	GⅢ	5月30日